ＣＯ２排出量削減の取り組み

アリオ亀有店で使用する電力を100％再生可能エネルギーに！

2021/6/10

セブン＆アイHLDGS.
CSRアクション

セブン＆アイグループでは、環境宣言「GREEN CALLENGE　2050」の目標の一つである2050年までにCO2排出量実質ゼロを達成するため、店舗運営における使用電力の100％再生可能エネルギーの実現を目指しています。イトーヨーカドーでは、21年4月に、第1号店としてアリオ亀有店で、再生可能エネルギー100％をスタートしました。

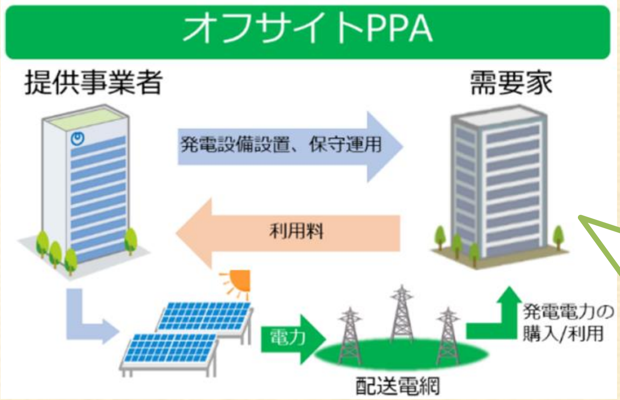
今回の取り組みはオフサイトPPAといって、NTTアノードエナジー株式会社が千葉県香取市に建設した2.3Mwのメガソーラーから、アリオ亀有店に長期的に電力供給を行うものです。事業者が、電力消費者である企業・自治体等専用の再生可能エネルギー発電所を遠隔地に設置し、送配電網を介してその電力を長期間供給するオフサイトPPAは、国内初の取り組みとなります。

今回、セブン＆アイグループのアリオ亀有店とセブンイレブン40店舗にオフサイトPPAの仕組みを使い、店舗で使用する電力を100％再生可能エネルギーに切替えます。

このような画期的な取組みだけではなく、ＣＯ２排出量削減には、店内バックルームの無駄な電気の消灯、使っていないパソコンの蓋を閉じるなど、地道な省エネの取組みも重要と捉え、従業員一同、今後も取り組んでまいります。

アリオ亀有店　店長
遠藤　治伸

オフサイトPPAによる電力供給のしくみ



オフサイトPPAだけでは不足する部分は、NTTグループが所有するグリーン電力発電所を活用することで、セブン＆アイグループのアリオ亀有・セブンイレブン40店舗の店舗運営に使用する電力を100％再生可能エネルギー化します。

アリオ亀有店

一人ひとりが意識して行動しています

リリースはこちら

https://www.itoyokado.co.jp/__resources__/861fc302-9d27-4a0f-8e08-e4226a7d8500.pdf

GREEN CHALLENGE 2050 私たちの挑戦で、未来を変えよう。

７＆I　グループ　CO2排出量削減目標

2030年までに13年度比５０％削減

2050年までに実質ゼロ